

こんにちは。蝉の鳴き声がちらほら聞こえはじめてきましたね。今回は、6月20日配信の「あおり歴史トリビア」第120号「梵珠山」に引き続いて、「眺望山」についてお話しします。



眺望山の看板



眺望山の案内図

眺望山は、昭和43年（1968）青森県の明治100年記念事業の一環で、梵珠山一帯とともに「青森県民の森」に設定されました。眺望山は、梵珠山の北に位置し奥内駅から西へ約7キロメートルの内真部地区にあります。周辺一帯は日本三大美林の一つである「天然青森ヒバ」の樹海やヒノキ、カラマツ、スギなどの人工造林、ナラなどの広葉樹林など様々な樹木が見られます。登り口は、主要地方道屏風山・内真部線の一本道沿いに「東口」、「中央口」、「西口」がありますが、現在、「中央口」と「西口」は、散策路の崩落等により立入禁止になっています。



ヤマボウシ



眺望山登山口



ヒノキ人工造林地



通行止めになっている西口コース

「東口」から、登りはじめると9つの解説板があります。その中の一つに「ヒバの右巻、左巻」という解説板があり、「ヒバの幹は、一般にまっすぐ上に伸びていますが、右または左によじれているものも多くあります。」と書かれており、解説板付近に歩道をはさんで右巻、左巻の大木を見ることができます。



解説板「ヒバの右巻左巻」



ヒバの右巻



ヒバの左巻



解説板「コアスナロ」

**コアスナロ (ホソバアスナロ)**  
 昭和の初め頃まで地元の人達は「変態ヒバ」と呼んでいましたが、昭和2年8月牧野富太郎博士が来山され、この名前を与えました。しかし牧野博士は晩年まで正式な学名をつけないでいたところ、戦後、林彌栄博士がホソバアスナロの名前をつけて公表しています。  
 青森森林管理署



解説板「ヒバの樹肌」

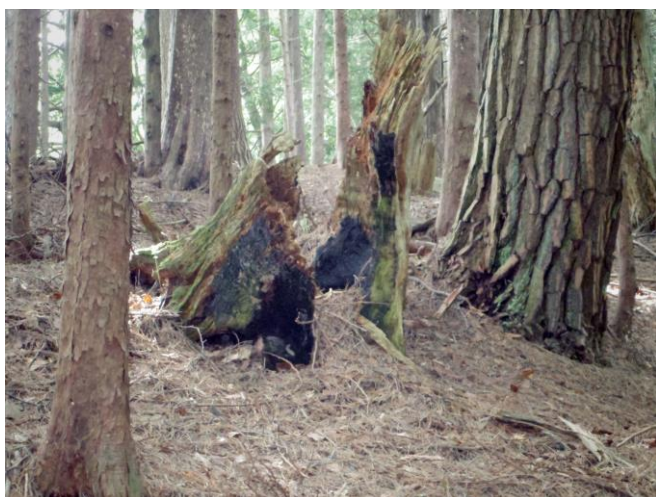
**ヒバの樹肌**  
 樹皮は薄いもので2mm、厚いものは15mmまであり、一般に赤褐色ですが灰褐色あるいは灰黒色のものがあります。その縦裂の模様によりスギ肌、イモ肌、ヒノキ肌等と呼ばれています。  
 青森森林管理署

また、「山火事跡の根株」という解説板には、「眺望山付近は、明治13年(1880)頃までたびたび山火事があったので、大正の初めまで『焼山』と呼ばれていました。その後、山火事を防ぎ、手入れに努めたため、このような林に生まれ変わりました。名称も大正7年(1918)6月10日にこの山にふさわしい『眺望山』という名になりました。」とあり、近くに焼け焦げた根株が今も残っています。



解説板「山火事跡の根株」

**山火事跡の根株**  
 この根株は明治初期の山火事で焼けたものです。眺望山付近は明治13年ごろまでたびたび山火事があったので、大正の初めまでは「焼山」と呼ばれていました。その後山火事を防ぎ手入れに努めたため、このような林に生まれ変わりました。名称も大正7年6月10日この山にふさわしい「眺望山」という名になりました。  
 青森森林管理署



山火事跡の根株



解説板「ヒバの花および球果」

**ヒバの花および球果**  
 ヒバの花は、雪のある2月中旬から咲き始め、3月中旬ころまで見られます。雌雄同株で、雄花は葉の最先端に紫黒色卵状約6対の十字対生した雄蕊からなっており、雌花は雄花よりやや内側の葉先端部に淡黄緑色で、4~5対の十字対生した心皮からなっています。そして球果はやや丸型で、9月下旬には成熟し、小さな種子が飛散します。  
 青森森林管理署



解説板「ヒバの天狗巣病」

**ヒバの天狗巣病 (アスナロノヒジキ)**  
 ヒバにはあまり病気や、害虫がつきません。ここに見られます球果は、6~7月頃胞子を飛ばして伝染しますが、樹体の弱り出した木や成長の悪い木につきます。それでもこの病気のため枯死することはありません。  
 青森森林管理署

「オドリヒバ」という解説板には、「ヒバの中には、幹が二叉、三つ叉と分かれているものを時折見かけます。また、枝先から芯が立ち、幹のように直立しているものもあります。このヒバは、たくさんの枝から芯が立ち、まるで踊っているかのように見えることから、その名が付けられました。」とあり、楽しそうなダンシングツリーが見られます。



解説板「オドリヒバ」



ダンシングツリー



解説板「ヒバの耐朽力」



解説板「ヒバの生命」

散策路の頂上までは、標高 143 メートルで急な坂もなく、遊歩道が整備されているので、解説板を見ながらいろいろなことが学べ、子どもからお年寄りまで、気軽に登ることができます。

頂上には、昭和 46 年 10 月に森林鉄道のレールを使用して青森運輸営林署が展望台をつくりましたが、老朽化のため、平成 22 年 (2010) 3 月に高さ 19 メートルの展望台が新たに完成し、陸奥湾、八甲田等の眺望が楽しめるようになりました。



森林鉄道のレールを使用して展望台をつかった  
当時の看板

明日から、夏休みに入る小・中学生も多いと思いますので、森林浴、植物観察、ハイキングに訪れてみませんか。



現在の展望台看板



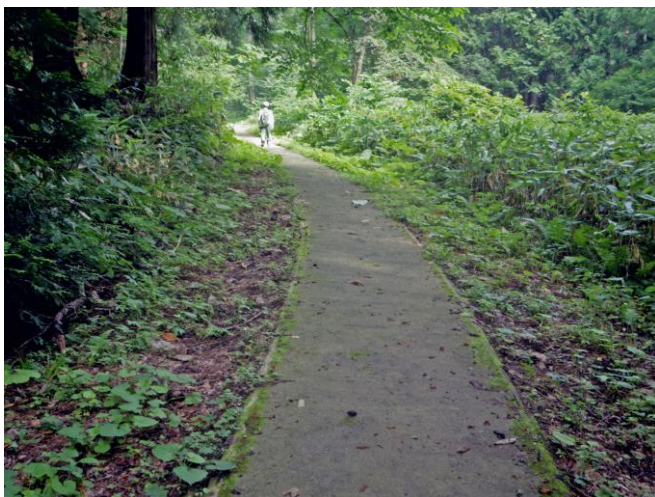
展望台から見る八甲田など



展望台



ハウチワカエデ



整備された遊歩道



ミズキ